

追伸報告

令和元年度 水辺で乾杯イベントへの地域貢献

1. はじめに

水辺で乾杯とは、毎年7月7日の川の日(七夕の天の川にちなんでいる)にあわせて、午後7時7分に全国の水辺で同時刻一斉に乾杯するというイベントです。(2019年度は全国253箇所で一斉乾杯。)

夏の夕暮れの水辺に人々が集い、日常の風景を少し変えられないかといったことで、有志によって行われ、ミズベリング・プロジェクトのWebサイトで宣言が行えるようになっています。

乾杯した後は長居せずにきれいにして帰るということで、水辺で楽しむ機会をたくさんの人たちでつくれるという気楽さを前面に出し、水辺の未来への思いを共有するいい機会になるのではないかと考えたことをプロジェクトの目的としています。

2. 水辺で乾杯イベントへの協力

オホーツク技術士委員会所属で網走開発建設部北見河川事務所の法村技術士から同イベント参加への提案がなされ、地域への貢献になるならと、当委員会から同イベントへの有志をつのることとしました。

その結果、山川技術士を実行委員長、ほか10名の技術士が実行委員として名乗りをあげ、北見市清月町若松大橋下の一級河川常呂川でイベントを実施することとしました。

イベント開催に当たって、橘代表からの地ビールの差入れや参加者から些少の参加費をいただき、山川実行委員長お得意の北見名物ホルモン焼きと焼き鳥、子供たちにはジュースやお菓子を用意し、楽しい地域イベントを催すことができました。

参加者は50名をこえ、午後7時7分全員で一斉乾杯したのち、イベントの趣旨にのっとりきれいに片づけて、すみやかに散会しました。

イベントの写真を載せ、追伸報告といたします。



写真-1 イベント準備の様子



写真-2 7時7分乾杯の様子



写真-3 乾杯後の全体写真